

川崎重工業株式会社

NO.2018044

2018年10月19日

各 位

会 社 名	川崎重工業株式会社
代 表 者 名	取締役社長 金花 芳則
コ ー ド 番 号	7012 東京① 名古屋①
問 合 せ 先	経理部長 星野 達生
	【東京】TEL 03-3435-2130
	【神戸】TEL 078-371-9531

2019年3月期通期連結業績予想の修正について

川崎重工は、2018年7月31日に公表した2019年3月期通期(2018年4月1日～2019年3月31日)の連結業績予想について、下記の通り修正しましたのでお知らせいたします。なお、本業績見通しの修正に伴う年間配当予想額(中間配当1株当たり35円、期末配当1株当たり35円)の変更は予定していません。

記

1. 2019年3月期連結業績予想の修正(2018年4月1日～2019年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する当期 純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A) (2018年7月31日発表)	百万円 1,650,000	百万円 75,000	百万円 70,000	百万円 47,000	円 銭 281.35
今回修正予想(B)	1,645,000	66,000	49,500	31,000	185.57
増減額(B-A)	△5,000	△9,000	△20,500	△16,000	—
増減率(%)	△0.3%	△12.0%	△29.2%	△34.0%	—
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	1,574,242	55,925	43,225	28,915	173.09

2. 修正の理由

営業利益は前提となる為替レートを1ドル=107円から1ドル=110円に見直したことによる増加や、航空宇宙システム事業における増加等があるものの、車両事業における損失の計上等により、前回(7月31日)公表値から90億円の減少の660億円、経常利益は営業利益の減少に加え、2019年3月期第2四半期決算においてTrent1000エンジンの運航上の問題に係る費用を計上したこと等により205億円減少の495億円、親会社株主に帰属する当期純利益は、繰延税金資産の計上金額の見直しを行ったこと等もあり160億円減少の310億円となる見通しです。なお、本業績見通しにおける為替レートは、1ドル=110円、1ユーロ=130円を前提としています。

また、車両事業における損失ならびに Trent1000 エンジンの運航上の問題に係る費用の詳細につきましては、本日公表の「車両事業における損失の計上等について」「Trent1000 エンジンの運航上の問題に係る費用の計上について」をご参照ください。

3. ご参考 2019年3月期 通期連結業績予想（セグメント別）

	前回見通し (7月公表)		今回見通し		増減	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益	売上高	営業利益
航空宇宙システム	4,750	275	4,900	355	+ 150	+ 80
エネルギー・環境プラント	2,800	90	2,700	80	▲ 100	▲ 10
精密機械・ロボット	2,300	245	2,300	240	-	▲ 5
船舶海洋	850	10	850	10	-	-
車両	1,600	25	1,350	▲ 140	▲ 250	▲ 165
モーターサイクル&エンジン	3,350	150	3,450	160	+ 100	+ 10
その他	850	30	900	30	+ 50	-
調整額	-	▲ 75	-	▲ 75	-	-
合計	16,500	750	16,450	660	▲ 50	▲ 90

(業績等の予想に関する注意事項)

上記の業績見通しは、現時点で把握可能な情報に基づき当社が判断した見通しであり、リスクや不確実性を含んでいます。従いまして、これらの業績見通しのみにより投資判断を下すことはお控えくださるようお願いいたします。実際の業績は、外部環境および内部環境の変化によるさまざまな重要な要素により、これらの見通しとは大きく異なる結果となり得ることをご承知おきください。実際の業績に影響を与える重要な要素には、当社の事業領域をとりまく経済情勢、対米ドルをはじめとする円の為替レート、税制や諸制度などがあります。

以 上